

# 『一心千里』

## 走っていても、見えてくる

永田 隆一



第126回

人生を流して生きる時

があります。ストレスは少ないのですが、退屈だとも言います。

その逆の生き方をする時があります。いつも何かが足りない状況で、頑張ります。そして、いつも不安だと言います。

歴史を学ぶと、多くの人は変化を求めません。

親や親戚が住んでいる場所の近くに住んでいたい。職業も親や親戚を手伝うところから始まる。なせなら、それが安全だからです。離れる、変えることは、大きなリスクとストレスを伴うことを

知っているからです。

「亮太さん、新型コロナウイルスの感染拡大は、WHOもパンデミックに入ったと認定しました。人の移動・集会の制限は、仕方がないことですが、

経済への打撃は心配を通り越して、恐怖を感じてしまっています」。

「雄介君、新幹線、飛行機の乗車率は30%を下回っている。街から旅行者も消えた。修学旅行も中止。ホテルの稼働率は20%程度。結婚式、宴会も中止。大阪・京都では建設中のホテルが破格の

値段で大量に売りに出始めた。さらに、中国の工場の稼働停止はサプライ

## 事態には冷静に対処する

## 経済低迷がRIPを招く

ない。日本の税金滞納の6割を超える消費税は、取引先が支払った税金の一時預かり金だ。しかし資金繰りに困窮した企業は、この預かり金を運転資金に転用してしまう。消費税は当局が差し押さえ権を有する厳しい税だ。決算日から2カ月以内に納付しなければなら

「2019年は負債総額1000万円以上の倒産が8383件報告されている。毎月700人の社長が裁判所へ出向いているのだね」「今回のコロナで多くの社長が不安と戦っているのですね」。

「知識とスキル、そして体験を通して身に付けた能力、こういったものは誰にも奪われることがない、その人の大きな財産だ。でも、強く咲きたいとチャレンジする時は、不安とストレスに直面する恐怖クラブの会員となる。だからチャレンジから距離を置く。それを分けるものは何だろうか。雄介君のガッツフィーリングでどう考えるか。Guts feeling? Gutsは内臓という意味、直感でという意味だ」。

「コロナ対策案を考えましょう」「お手持ちはお金を使い経済を回す。普通の人たちは思い切った決断をする。国は思い切った減税、免税をする。日本では毎年インフルエンスで3000人が亡くなっているが、コロナでの死亡者数はまだ数十人。マスク、国が不安をあおり、リーマン・ショックと同じかそれ以上の経済悪化を招けば、倒産、破産が人を殺すかもしれない」「コロナが不景気を招いて、人を殺すかもしれないリスクですか。パドワイザーでもハインケンでもないのですね」「そうだ、コロナだ」。

チェンを守断。海外製造から国内製造に舵を切った企業もあるものの、準備には時間がかかる」。

「多くの企業で、事業継続が難しいリスクに直面しています」。

「雄介君、企業は、赤字が続いても、借金が増えても、返却を先延ばしにしてもらえば倒産はし

「知識とスキル、そして体験を通して身に付けた能力、こういったものは誰にも奪われることがない、その人の大きな財産だ。でも、強く咲きたいとチャレンジする時は、不安とストレスに直面する恐怖クラブの会員となる。だからチャレンジから距離を置く。それを分けるものは何だろうか。雄介君のガッツフィーリングでどう考えるか。Guts feeling? Gutsは内臓という意味、直感でという意味だ」。

「知識とスキル、そして体験を通して身に付けた能力、こういったものは誰にも奪われることがない、その人の大きな財産だ。でも、強く咲きたいとチャレンジする時は、不安とストレスに直面する恐怖クラブの会員となる。だからチャレンジから距離を置く。それを分けるものは何だろうか。雄介君のガッツフィーリングでどう考えるか。Guts feeling? Gutsは内臓という意味、直感でという意味だ」。

「知識とスキル、そして体験を通して身に付けた能力、こういったものは誰にも奪われることがない、その人の大きな財産だ。でも、強く咲きたいとチャレンジする時は、不安とストレスに直面する恐怖クラブの会員となる。だからチャレンジから距離を置く。それを分けるものは何だろうか。雄介君のガッツフィーリングでどう考えるか。Guts feeling? Gutsは内臓という意味、直感でという意味だ」。

(毎月連載)